

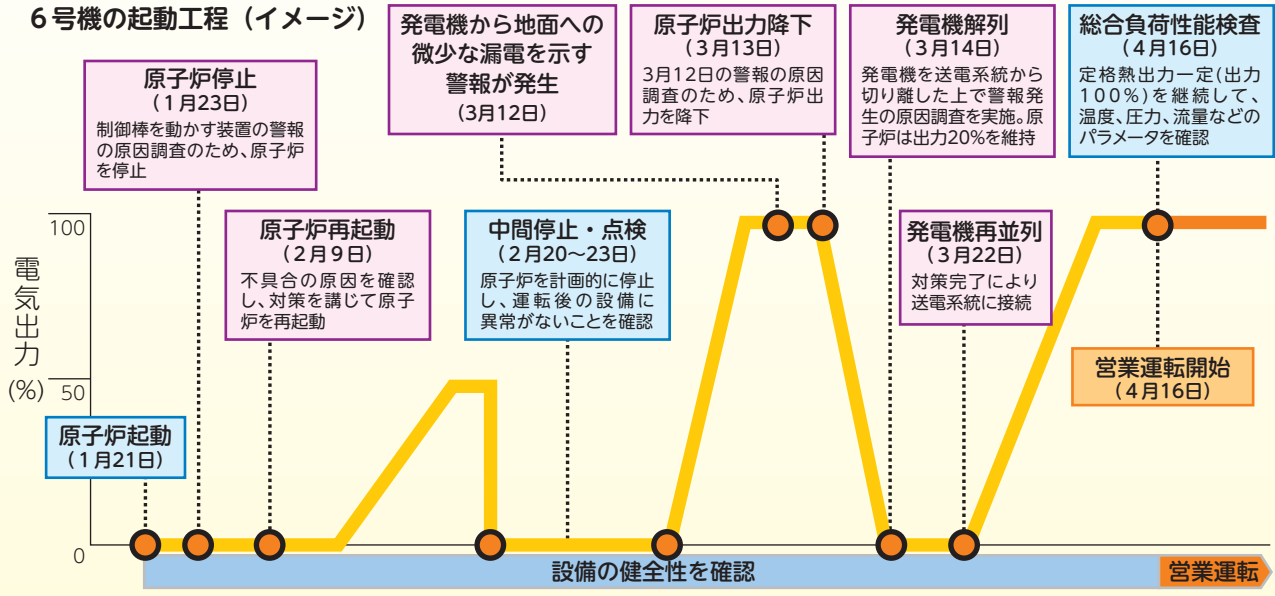


## 柏崎刈羽原子力発電所 6号機が営業運転を開始しました。

令和8年1月21日以降、東京電力は柏崎刈羽原子力発電所6号機の原子炉を起動して設備の健全性を確認してきました。4月16日には総合負荷性能検査（原子炉圧力、主蒸気流量などの各種パラメーターを確認する営業運転前の最終検査）を行い、異常がないことを確認しました。

同日、原子力規制委員会から同社に使用前確認証が交付され、約14年ぶりに営業運転を開始しました。

### 6号機の起動工程（イメージ）



県では、6号機の原子炉起動に合わせ1月20日より発電所の監視を強化し、4月16日には県、柏崎市、刈羽村と技術委員会や原子力発電所周辺環境評価会議の専門家も加えた監視チームにより状況確認を行いました。

### 【監視チームによる状況確認（4月16日）】

#### <主な確認内容>

- ・総合負荷性能検査の実施状況
- ・プラントデータ、放射線監視の結果等

#### <専門家のコメント（抜粋）>

・再稼働以降、いくつかトラブルはあったが、慎重に対応していること、総合負荷性能検査が手順どおり、的確に実施されていることを確認できた。

東京電力には、実績を積み重ね県民の信頼を得てほしい。



総合負荷性能検査の実施状況の確認（中央制御室）



プラントデータ、放射線監視結果等の確認

上記のほか、6号機の起動工程に合わせ実施してきた監視強化の結果は県ホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/r7kk6startuptest.html>



## 知事が経済産業大臣と面談しました。

4月25日、花角知事が赤澤亮正経済産業大臣、山田賢司副大臣と面談し、昨年12月に柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の再稼働へ向けた政府の方針への回答にあたり確認した7つの項目や、原発立地地域の地域振興等について意見交換をしました。

知事は、柏崎刈羽原発の安全対策・防災対策の県民への理解促進や、東京電力の信頼回復の取組、避難路や屋内退避施設の整備促進の取組など7つの項目について、引き続きしっかりと進めていただくよう求めました。

大臣からは、7つの項目は非常に重要なものであり、具体化に向けて取り組んでいるほか、原発立地地域の振興などの取組を進めるとの説明がありました。

### 【意見交換の様子】



花角知事

山田副大臣

赤澤大臣

(会場：柏崎原子力広報センター)

7つの項目については、前回の原子力だよりでご紹介しています。  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/490193.pdf>



## 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策・防災対策をまとめたリーフレットをお配りしました。

柏崎刈羽原子力発電所の安全対策・防災対策のポイントをまとめたリーフレットを、市町村等を通じて、3月から5月にかけて県内各戸にお配りしました。

また、リーフレットでご紹介した内容について、より詳しく知っていただけるよう様々なウェブサイトをもとめたリンク集を、新潟県のホームページに追加しました。ぜひ、ご一読をお願いします。

福島第一原発の事故はなぜ起きたの？



事故に備えた防災対策はどうなっているの？

柏崎刈羽原子力発電所の安全対策を教えてください

リーフレットは県ホームページでもご覧になれます。  
 リーフレットの内容を、より詳しく知っていただけるリンク集もこちらから確認できます。  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/anzen-bosai-leaflet.html>

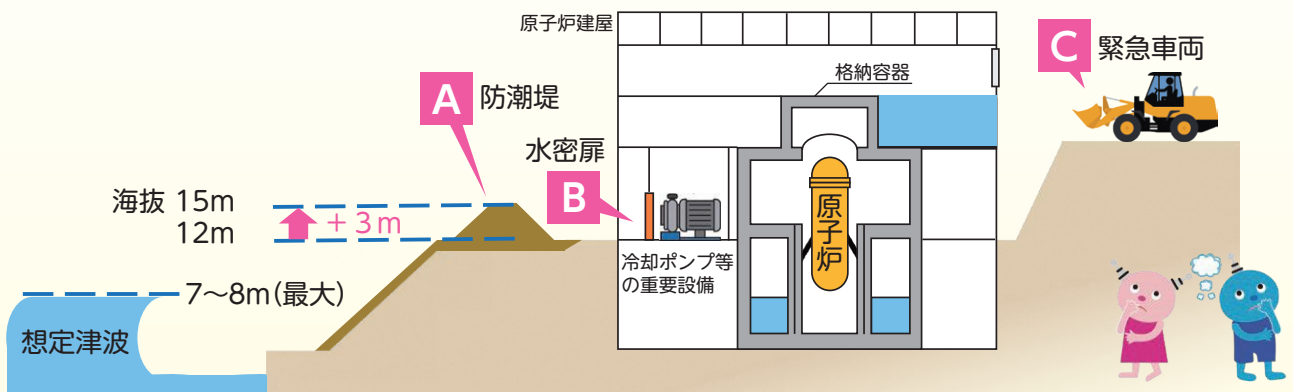


## もっと知ってほしい“柏崎刈羽原子力発電所の安全対策・防災対策”

リーフレットでご紹介した、安全対策・防災対策の内容を掘り下げて、4回にわたってご説明します。

### 福島第一原発事故を踏まえた安全対策

### 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の津波・浸水対策



#### 福島第一原発事故の状況

東日本大震災の際、福島第一原発を最大15.5mの津波が襲いました。当時想定されていた津波の高さは6.1mで、津波への対策が不十分でした。

#### 防潮堤



A

#### 柏崎刈羽原発の安全対策

柏崎刈羽原発では、福島第一原発事故以前は最大3.3mの津波を想定していましたが、事故の教訓等を踏まえ津波の想定高さを7~8mに引き上げたくうえで、15mの防潮堤（敷地高さ12m+盛り土3m）を設置しています（5~7号機側）。



#### 福島第一原発事故の状況

津波による浸水被害により、電源や冷却設備が大きな被害を受けました。

#### 水密扉



B

#### 柏崎刈羽原発の安全対策

想定を超える津波や、配管の破断による浸水等に備えて、屋外につながる扉や、安全上重要な設備が設置されている部屋の扉を水密化しています。頑丈な扉を特殊なパッキンやロック機構で密閉し、強い衝撃や水圧にも耐えられるようになっています。



#### 福島第一原発事故の状況

作業員による電源の復旧が進められましたが、津波の漂着物などによるガレキにより作業が難航しました。

#### 緊急車両によるガレキ撤去訓練



C

#### 柏崎刈羽原発の安全対策

東京電力社員自らが、事故対応の支障となるガレキ撤去を行えるよう、構内の高台に重機を配備するとともに、免許の取得を進めています。また、技能維持のため、定期的なガレキの撤去訓練を行っています。



福島第一原発事故を踏まえた防災対策

避難路の整備状況

どうして避難路の整備を行っているの？



避難路について、県や市町村の避難計画では、既に整備してある道路の中から、主な避難経路を複数設定し、万一の原子力災害時には、これらの道路により避難することとしています。

現在行っている避難路の整備は、新たな道路を整備するものではなく、その多くは地震や豪雪などの自然災害に対して、既にある道路を強くし、安全性をより高めるために整備を進めているものです。



現在、以下の整備を優先し、県内91箇所（うち県実施分は88箇所）で調査や工事を進めています。

- ◆ 原発周辺からUPZ圏外に避難するための幹線道路であり、原発を中心として6方向へ放射状に避難する経路の確保
- ◆ 高速道路の追加インターチェンジ、緊急進入路の整備
- ◆ 柏崎市街地から円滑に避難を行うための国道8号バイパスの整備
- ◆ 複合災害時の通行の信頼性確保
  - ・道路の拡幅、カーブや勾配などの改良
  - ・橋の耐震補強
  - ・土砂災害警戒区域等における法面対策等
- ◆ 避難路の除雪体制等の強化
  - ・除雪車両の増強
  - ・消融雪施設や監視カメラ等の対策



避難路整備のイメージ

※土砂災害警戒区域等における法面対策



落石防護柵



防雪施設



整備の内容や現在の状況は、こちらのホームページで確認できます。



TOPIC!! 新潟県避難所アプリのご紹介



避難所などでスムーズに受付できるようになるほか、在宅の場合などでも県や市町村からの支援が届きやすくなります。ぜひダウンロードし、登録して下さい。

平時からの備えが大切  
(ダウンロードはこちらから)

県が提供している  
アプリ一覧はこちらから



NEW!

～避難時の受付がスムーズに～  
新潟県避難所アプリが  
できました



ios

Android

防災対策に  
ご利用  
ください

# 環境放射線監視調査結果速報 (令和8年1月～3月)

新潟県では、安全協定に基づき、柏崎刈羽原子力発電所周辺で空気中の放射線の量や野菜・水などの環境試料に含まれる放射能を調査しています。調査結果は以下のとおりです。

## 1 空間放射線

※ここでは、測定値を「1Sv=1Gy」で換算して表示しています。

### ①空間放射線量率

結果：柏崎市街局で対照期間(直近)の最大値を超えました。これは降雨により、天然放射性核種が地上に降下したためと考えられます。

モニタリングポスト(11局)で空気中の放射線の量を連続測定しています。

(単位：μSv/時)

測定地点 (モニタリングポスト)	測定結果
①西山局	0.015 0.014 ▲(0.034) 0.092 0.110 0.138
②宮川局	0.015 0.022 ▲(0.038) 0.092 0.100 0.137
③勝山局	0.010 0.009 ▲(0.029) 0.099 0.113 0.122
④刈羽局	0.010 0.015 ▲(0.033) 0.096 0.130 0.155
⑤発電所北局	0.010 0.011 ▲(0.030) 0.096 0.108
⑥発電所南局	0.011 0.011 ▲(0.030) 0.097 0.131
⑦赤田町方局	0.022 0.021 ▲(0.036) 0.092 0.110
⑧下高町局	0.008 0.014 ▲(0.035) 0.103 0.119 0.131
⑨荒浜局	0.016 0.019 ▲(0.035) 0.087 0.108 0.111
⑩土合局	0.011 0.009 ▲(0.029) 0.097 0.114
⑪柏崎市街局	0.017 0.022 ▲(0.036) 0.093 0.089 0.126

・県内の通常の変動の範囲：0.016～0.16 μSv/時  
⑤発電所北局、⑥発電所南局、⑦赤田町方局、⑩土合局は、事前調査期間に測定を開始していないため、赤線の表示はありません。

### ②積算線量

結果：対照期間の測定値の範囲内でした。

空気中の放射線が3か月でどれくらいの量になるかを発電所周辺地域内のモニタリングポストとは別の11地点で測定しています。

(単位：mSv/91日)

測定地点 (モニタリングポイント)	測定結果
全11地点	0.09 0.09 ▲(0.10) 0.11 0.13

※事前調査期間の測定値の最大値は0.13であり、直近の測定値の最大値と同一であるため、赤線の表示はしていません。

## 2 環境試料中の放射能

### ①全ベータ放射能測定

結果：柏崎市街局で対照期間(直近)の最大値を超えました。調査の結果、これは天然放射性核種の影響によるものと考えられます。

試料中の放射性物質が放出するベータ線を測定し、おおよその放射能レベルを求めています。

### 浮遊じん(※)

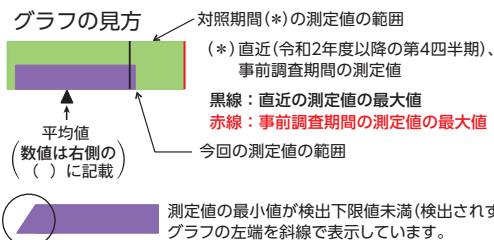
(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

測定地点 (モニタリングポスト)	測定結果
①西山局	0.20 ▲(0.021) 0.18
④刈羽局	0.22 ▲(0.019) 0.18 1.1
⑪柏崎市街局	0.099 ▲(0.013) 0.11 0.40

(※)「浮遊じん」とは空気中のほこりです。これを6時間収集し、5時間後に測定しています。5時間後に測定するのは、自然放射能(ラドン崩壊生成物によるもの)の影響を少なくするためです。

①西山局は、事前調査期間に測定を開始していないため、赤線の表示はありません。

### グラフの見方



この期間中、柏崎刈羽原子力発電所6号機の起動工程が進められてきましたが、調査結果から問題となるような値は確認されていません。また、3月16日までの空間放射線量率等監視結果を第84回評価会議（3月25日開催）で報告し、確認いただきました。

評価会議 <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/84hyoukakaigikekka.html>



②核種分析（セシウム137、トリチウムなどの放射性物質の種類（核種）毎に放射能を測定）

結果：下記のとおりです。

調査核種	試料名	測定結果	単位
<b>放射性セシウム</b> <b>放射性ヨウ素 など</b> [調査試料名] ・〈浮遊じん〉 ・〈降下物〉 ・〈陸水：飲料水、原水〉 ・〈畜産物：牛乳〉 ・〈ホンダワラ類〉	—	セシウム137 など  検出されませんでした。	—
<b>ストロンチウム90</b> [調査試料名] ・陸水：飲料水 ・畜産物：牛乳	 飲料水	0.00065 0.00091 0.0013 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/ L
	 牛乳	0.023 0.0085 0.67 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/ L
<b>トリチウム</b> [調査試料名] ・大気：監視地域 ・〈大気：対照地域〉 ・〈陸水：飲料水、原水〉	 大気	トリチウム（監視地域） 0.0039 0.015 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/m <sup>3</sup>
<b>プルトニウム</b> [調査試料名] ・〈浮遊じん〉 ・降下物	 降下物	プルトニウム239+240 0.0014 0.0012 0.0030 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/m <sup>3</sup>

・〈青字〉の調査試料から、人工放射性核種は検出されませんでした。

単位

放射能の量

Bq  
[ベクレル]

物質が放射線を出す能力。1秒間に1個の原子核が崩壊するときは1Bqの放射能といえます。天然放射性物質のカリウム40は、成人男性（体重60kg）の体内に約4,000Bqあります。



m[ミリ]=1,000分の1 μ[マイクロ]=100万分の1

放射線を受ける物質に吸収される量 [Gy:グレイ]



放射線の量

Gy  
[グレイ]

放射線が空気などの物質に吸収される量をエネルギーで表す単位です。

Sv  
[シーベルト]

人間が放射線を浴びたとき、どのくらい影響を受けるかを表す単位です。人間は普通に生活していても自然界から1年間で約2.1ミリシーベルト（日本平均）の放射線を受けています。なお、1Sv=1Gyで換算することができます。

過去の監視調査結果や県内のモニタリングポストの測定値は、下記のホームページをご覧ください。

【モニタリングポストの測定値】  
新潟県環境放射線監視測定データ公開サイト  
<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp>



【過去の監視調査結果】  
放射線監視センター  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/houshasen/kakusyutyousakekka.html>  
「監視調査報告書」より過去の結果を確認頂けます。



お問い合わせ先：県原子力安全対策課放射線監視係 TEL.025-282-1697

# 柏崎原子力広報センターからのお知らせ

原子力に関する講座や研修等を開催しています。

## ■原子力出前講座（対象：県内の一般住民）

「放射線の基礎」や「原子力防災の基礎」について、町内会などに伺い、分かりやすい講座を開催します。講座については、ご希望の会場で開催します。また、柏崎原子力広報センター内の研修室も利用可能です。

## ■放射線教室（対象：小学生・中学生）

新潟県教育委員会作成の「放射線等に関する副読本の活用の手引き」に沿って、実験器材などを用いて放射線の性質やエネルギー利用についての学習をお手伝いする教室を開催します。

## ■放射線教育研修会（対象：県内の小中学校教師）

教育現場で役立つ放射線やその平和利用についての知識を深めるための研修を開催します。

他の研修やイベントの開催もしています。開催を希望される団体は、柏崎原子力広報センターまでご連絡ください。

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会を傍聴できます。

### 今後の定例会の開催予定

開催日	時間	場所
7月 1日(水)	18:30～	広報センター研修室
8月 5日(水)	18:30～	広報センター研修室
9月 2日(水)	18:30～	広報センター研修室

定例会の開催予定等は必ずお問い合わせください。

※ホームページはこちらから

新潟県 地域の会

検索



〈上記事業や施設利用に関するお問い合わせはこちら〉

## 公益財団法人 柏崎原子力広報センター

新潟県、柏崎市、刈羽村、出雲崎町から受託して様々な事業を行っています。

住所 柏崎市荒浜1丁目3番32号

TEL 0257-22-1896

FAX 0257-32-3228

時間 9:00～16:30 休館日 月曜日・年末年始

E-mail info@atomuseum.jp

HP https://www.atomuseum.jp

※ホームページはこちらから

ATOMUSEUM

検索



家族みんなで  
遊びに来てね!



展示物、ライブ  
リーもあるよ!



お気軽にお越しください

〈本誌に関するお問い合わせはこちら〉



制作・発行

新潟県防災局  
原子力安全対策課  
令和8年度 広報・調査等交付金事業

住所 〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

E-mail ngt130030@pref.niigata.lg.jp

TEL 025-282-1696

FAX 025-285-2975

HP https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/